

【副理事長所信】

副理事長 竹花 勇貴

私たちのまちを取り巻く社会は、かつてない速さで変化しています。人口減少や少子化はもとより、家庭や教育の在り方にも多様な価値観が生まれ、子供たちが育つ環境はこれまで以上に複雑さを増しています。だからこそ、その変化を新たな可能性へと変えていくことが、私たちに求められている使命だと私は考えます。

子供たちが未来に夢を抱くためには、大人がただ知識や答えを与えるのではなく、共に学び合い、挑戦し続ける姿を示すことが必要です。失敗や悩みも含めて経験を共有し、そこから互いに育ち合うことこそが「未来共育」の姿です。子供たちの無限の可能性を信じ、大人もまた変化を恐れずに成長することで、世代を超えた学びの連鎖が生まれます。

また、未来をつくる営みは家庭や学校だけでは完結しません。地域全体が子供の成長を支える環境を築くことが重要です。我々がその中心となり、多様な人々や団体をつなげ、共感の輪を広げる役割を担っています。我々はその懸け橋となり、子供と大人、そして地域を一体につなげる活動を全力で推進してまいります。

大人が共に学び続ける姿を示すこと、それは未来を生きる子供たちに「自分も挑戦していい」という勇気を与えるものです。次の世代へ希望をつなぐために、我々大人が果たすべき責任は大きい。しかしその責任こそが、未来を切り拓く力になると私は信じています。

すべては、共育の心で世代をつなぎ、子供たちが夢を描ける未来のために。